

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007  
FAX03-3261-5453

2016年12月12日（月）

第699号 本号3頁

## 東京集会に3900人 全国33都道府県37ヵ所で、「高江・辺野古 米軍基地許さぬ」と集会やデモ

沖縄県東村高江で進む米軍北部訓練場のヘリコプター離着陸帯（ヘリパッド）工事や、米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設に反対する集会沖縄県民に連帯しようと、「高江オスプレイ・ヘリパッド、辺野古新基地の建設を許さない東京集会」が10日、日比谷野外音楽堂で開催されました。3900人が参加し、「米軍は帰れ」「みんなの税金を基地に使うな」と、「NO！ 新基地」のボードを一斉に掲げ、コールしました。

この東京集会をはじめ、全国でわかっているだけでも、700人が参加した現地沖縄県東村北部訓練場N1ゲート集会【別項の詳細】をはじめ、全国33都道府県、37ヵ所で連帯・共同の集会などが取り組まれました。

東京集会では、「基地の県内移設に反対する県民会議」事務局次長の仲本興真さんが主催団体あいさつし、沖縄のたたかいを報告しました。「高江や辺野古での抗議行動で逮捕者は50人を超えた。県民運動への政治的萎縮ねらう行為だ」と政府の対応を批判。安倍政権が高江で強行しているオスプレイパッド建設は、「生物多様性に富む自然豊かなやんばるの森を破壊するものだ」と糾弾し、「負担軽減に名を借りた基地の固定化と機能強化を断固拒否しよう」と訴え、さらに



「民主主義と民意を尊重しない安倍政権は退陣せよ、の声を広げよう」と呼びかけました。

国会包囲実行委員会の青木初子さんは「沖縄のたたかいは東京のたたかい」と、連帯の決意を述べました。

総がかり行動実行委員会の共同代表の高田健さんは、自衛隊の南スーダン派遣部隊への新任務付与など戦争法具体化と沖縄の基地強化の流れは一体だと述べ、「諸悪の根源・安倍内閣を倒し、政治の改革を求めてたたかう」と強調し、「市民連合とともに国政選挙で立憲4党と連携し、安倍政権に大きな打撃を与えよう」と訴えました。

さらに、成蹊大学の武田真一郎教授が辺野古新基地をめぐる「高裁判決と最高裁」と題して報告。東京・横田、千葉・木更津の住民代表らが、米軍の新型輸送機オスプレイの国内基地への配備に反対するなど、連帯のスピーチをしました。

集会には、日本共産党の笠井亮衆院議員、民進党の初鹿明博衆院議員、社民党の又市征治参院議員、沖縄の風の糸数慶子参院議員があいさつをしました。

参加者は集会後、「高江・辺野古 NO!」「平和壊すな 沖縄壊すな」など書いたプラカードを掲げながら、銀座に向けデモ行進し、年末でにぎわう沿道の人たちに訴えました。

### 沖縄では、緊急県民集会を米軍北部訓練場N1ゲート前で開催

同じ10日、沖縄県東村高江周辺の米軍オスプレイパッド建設と辺野古新基地建設を許さない緊急県民集会が、米軍北部訓練場N1ゲート前で開かれました。「基地の県内移設に反対する県民会

議」が主催。約 700 人が「最後まで団結してオスプレイパッド工事を止める」と声をあげ、政府が工事再開を狙う辺野古新基地や、米軍伊江島補助飛行場の増強を断念させようと力を込めました。

「ヘリパッドいらない住民の会」の伊佐真次さん(日本共産党東村議)は、「オスプレイの騒音で普通の生活ができず、引っ越しを考える人もでてきている。当たり前前に静かに暮らすためにも工事をやめさせるしかない」と訴えました。

県議会与党各会派の議員も参加。日本共産党の渡久地修県議は、「辺野古・高江・伊江島一体となった米軍の出撃拠点を造らせてはならない。海兵隊の全面撤退、全基地撤去まで頑張ろう」と呼びかけました。



## **憲法共同センター「9の日」行動 戦争法廃止と南スーダンからの自衛隊撤退を訴える！**

憲法共同センターと東京憲法共同センターは9日、新宿駅西口で「9の日」宣伝行動を行い、自衛隊員の南スーダンからの撤退と沖縄の基地強化反対を訴えました。

東京憲法会議の斉藤純一事務局長は、安倍政権は本格的に改憲を実行しようとしていると述べ、侵略戦争の痛切な反省の上にたった憲法を守る重要性を強調し、戦争法の発動阻止と廃止への決意を述べ、署名への協力を呼びかけました。

署名に応じた、これから旅行するという二人連れの女性は「南スーダンは戦争状態で派遣された自衛隊員の命が心配」「沖縄の高江での強行設置は許せない」と語りました。また、新宿に住む女性は、自転車を止め、「安倍さんは危険。憲法を改悪するなんて許せない」と、署名しました。

## **母親大会連絡会の8日＝アジア・太平洋戦争開始75年のとりくみ**

アジア・太平洋戦争を開始した日から75年の8日、全国各地で「日本の若者をふたたび戦場に送るな!」「南スーダンから自衛隊は撤退せよ」「戦争法廃止」と「赤紙」も使い、宣伝行動が展開されました。前号に続き、母親大会連絡会の母親全国連鎖行動の各地のとりくみを紹介します。

### **東京 有楽町マリオン前とJR御茶ノ水駅前「赤紙」配布!**

日本母親大会連絡会と東京母親大会連絡会は有楽町マリオン前とJRお茶の水駅前で、「武器はいらない 核もいらない 12・8 平和を守る母親全国連鎖行動」を行いました。召集令状「赤紙」を模したピラを配布して、自衛隊の南スーダンからの撤退と、核兵器廃絶を求める「ヒバクシャ国際署名」を呼びかけました。

全労連の長尾ゆり女性部長は、「青森の自衛隊部隊が新任務を付与され、南スーダンに派遣されました。どこの母親が娘や息子、夫を戦場に送ることを願うでしょうか」と述べ、安倍政権が狙う「戦争する国」づくりを許さず戦争法を廃止しようと訴えました。

御茶ノ水駅前で署名に応じた葛飾区の男性は、「自衛隊の駆けつけ警護にも憲法改正にも反対です。日本政府は、憲法9条をいかした行動をとるべきだ」と語りました。

### **秋田 「赤紙」配り、反戦を訴え 秋田駅前**

太平洋戦争開戦から75年を迎えた8日、秋田県母親大会連絡会(加賀谷久子会長)はJR秋田駅前で、「赤紙」を複製した赤色のチラシを配布し、戦争の恐ろしさや平和の大切さを訴えました。戦時中実際に使われていた「赤紙」をコピーし、裏面に「戦争をする国にしないで」というメッセージを添えたチラシを作成。メンバーはJR秋田駅前で、約400枚を通行人に手渡しました。

加賀谷会長は「この紙を見て、平和について考えるきっかけにしてほしい」と語りました。また自衛隊に新たに「駆け付け警護」が課せられ南スーダンに派遣されたことについて、「こうした流れが戦争への糸口になるということを、戦争を知らない世代に訴えたい」と話していました。

## 岩手 太平洋戦争開戦の日・・・赤紙配布

12月8日アジア・太平洋戦争開戦の日、岩手県母親大会連絡会（渡辺喜代子会長）が、中三前で、赤紙配布を行い戦争反対をアピールしました。各団体から35人参加し40分間の行動で500枚配布し憲法改悪反対の署名179人分集まりました。

年配の方でも「赤紙」をもらい、「知らなかった」とつぶやいていました。参加者は戦争がだいぶ遠くなってきているこ



います。母親大会連絡会では、毎年8月15日の敗戦の日と12月8日開戦の日に、「戦争を忘れてはならない」平和な社会を、と市民へアピールして28年目となります。

## 岩手・宮古 宮古母親連絡会とみやこ九条の会の共同宣伝

「赤紙配布」と戦争法廃止求める署名行動が宮古母親連絡会とみやこ九条の会の共同で、12月8日（木）昼に宮古駅前で行われました。参加は11人。次のような訴えがされました。訴えとともに「赤紙」チラシも配布。署名22人分が寄せられました。

「昨年9月に強行採決された安保関連法＝戦争法は今年3月から施行され、政府は着々と戦争する国づくりをすすめています。母親連絡会は、女性5団体で岩手県議会に安保法制に反対する請願を提出し、賛成多数で採択されました。

安倍政権は、11月15日南スーダンでの国連PKOに参加する自衛隊部隊に対する「駆けつけ警護」などの危険な新任務付与の閣議決定をしました。現在南スーダンは、停戦合意が崩れ戦闘状態にあり、必ず犠牲者が出るといわれています。11月20日以降、PKO派兵の交代要員として派遣された青森の陸上自衛隊には岩手出身の自衛官もおり、岩手駐屯地所属の約30人も派遣を想定した訓練に参加しています。

12・8武器は知らない母親全国連鎖行動の一環です。再び戦争の道を許さず、世論の力で戦争法は発動させず廃止させましょう。そのために声を上げ、行動しましょう！」

## 大阪 「子どもたちを戦争に行かせない」

大阪母親大会連絡会の主催で、難波で数十人の女性が街頭に立ち、「召集令状」を模したチラシを行き交う人たちに配りました。「子どもたちを二度と戦争に行かせない」。8月15日の終戦の日にも恒例となった活動には、こうしたメッセージが込められています。

赤紙チラシ配りは1973年の終戦の日始まり、75年からは開戦の日も取り組んでいます。安全保障関連法の成立後としては初めてとなった今回の活動では、チラシに「自衛隊の海外派兵は許さない」といった文言も加えました。

連絡会副委員長の田川治代さん（70）＝大阪市＝は「今こそ、遠い存在になっている戦争を若者に知ってほしい」と訴えました。チラシを受け取った専門学校生の江川大生さん（20）は「戦争を体験したひいばあちゃんが『食べ物がなくて苦労した』と言っていました。無関係の人も巻き込む戦争はよくない」と話しました。

## 当面の日程

12月14日(水) 2017年5・3憲法集会第2回実行委員会 18時30分～連合会館

12月19日(月) 安倍政権の暴走止めよう！自衛隊は南スーダンから撤退せよ！12・19国会議員会館前行動 18時30分～19時30分 衆院第2議員会館前～国会図書館前(総がかり)

12月21日(水) 「衆院選挙をどう戦うか～立憲政治の再生を～」18時30分～21時  
北とぴあ さくらホール(石川健治／大沢真理／山田厚史／諏訪原健／山口二郎)  
(市民連合)